

## 『にもかかわらず (However) 』

樋野興夫

順天堂大学医学部 病理・腫瘍学 教授  
一般社団法人 がん哲学外来 理事長  
「越冬隊 友の会」 顧問



今、2018年2月5日に誕生した、Boston 在住の娘の2人目の子供(男児)に逢う為に、アメリカである。アメリカ行きの飛行機のなかでは、映画『Wonder』を鑑賞した。『障がいがある少年の葛藤と成長のドラマ ～ 生まれつき 顔に障がいがある 10歳の少年が、学校でのいじめや 偏見を乗り越え、家族や友だちとの絆を深めていく。』と謳われていた。感動した。涙なくて語れない。まさに、『Why vs How』の学びの時であった。

大変な状況にある『にもかかわらず (However) 』、『無邪気に、小さなことに、大きな愛を込める』主人公の姿には、大いに感激した。まさに、『人生の目的は、品性の完成である』の再確認となった。また、新渡戸稲造の温もりを感じ育った神谷美恵子の『同じ条件の中にも、あるひとは 生きがいを感じられなくて悩み、あるひとは 生きるよろこびにあふれている。このちがいは どこから来るのであろうか』の静思の時でもあった。『越冬隊友の会』の存在意義は、ここにあろう。

## 『Why と How の違いについて』

ながれやま・がん哲学外来カフェ  
代表 春日井いつ子

格調高い先生のお話はぼんやり聞いてはならぬ と感じます。  
「誰の言葉か知っていますか？知らないでしょう」と言われてしまいます。  
幾度となく Why とは？の話をされていた事。書き留めていた私のメモが物語っています。  
それさえも忘れていましたが。

私は先生に負けない位の人口の少ない田舎で生まれましたが、違う点は英語力は学校に置き忘れて来た為、今バタバタ慌てています。

Why正に今の私の気持ち。何故私なのですか。Tell me why?  
How とは「どんな具合に」とありますからどんな風を書いたら良いか分からない、となります。

二つの単語は私の心の中の葛藤です。  
樋野先生は単に二つの単語の意味を述べよとはおっしゃってはいないことは分かります。

「何故、私なのですか」「どんな風に振る舞うのですか」  
この時与えられた、静思、思索の時間は大変貴重でした。  
尋ねる相手が人間や社会であるうちは判らない事も自分自身に問うていくうちに、なすべき方法振る舞いが、目に見えない偉大なるものの後押しを受け少しずつ明らかになった気がします。  
How が向上、深化をも意味するものであるなら、先生と出逢い、自ずと本を読み、自分の行くべき方向が明かされ、そして生かされ全く違う分野に専念出来る喜びがあります。  
この私がなぜなぜと立ち止まらず、もしかするとこの時の為に今があると深化した時、更に自分の立ち位置にも気付き向上もする事でしょう。

私はここにいます。と、まだ大きな声で堂々と言えませんが、蚊のなく様な声であれば今でできる限りの身体と真心を持って、お仕返し下さいと言える人間を目指します。  
人生はプレゼントですから。

